

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	ぴかぴか教室			
■評価事業コード	040200 - 021	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	地域保健法/地域保健対策の推進に関する基本的な指針			
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の概要	・歯科疾患予防の基本は乳幼児期の生活習慣であるため、個別に指導することで将来の歯科疾患を予防することができる。・ぴかぴか教室 要フォローの2歳児の歯科健診(年4回)・個別指導 年8回実施			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	いい歯のつどい・ぴかぴか教室	要フォローの2歳児		8回実施 参加者 42組 84人
02	歯科保健指導事業	市民		<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防、出前講座、健康教育、歯科健康相談 74回 1,421人 ・保育園・幼稚園指導 6回 290人 ・小、中学校 10校23回 1,324人 ・父兄対象 8回 202人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	443	222	126	114	
人件費	5,429	6,288	5,227	1,416	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,872	6,510	5,353	1,530	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	ぴかぴか教室の参加者数	465人	98人	101人	42人	H21年度までは、「いい歯のつどい」も実施していたが、 □ H22年度から「ぴかぴか教

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

02	参加者のむし歯がない子の割合	74人	0.944	1.00	0.95	H22年度から「ぴかぴか教室」のみを実施しているため、指標を変更
03	3歳6か月児健診におけるむし歯のない子の割合	0.721	0.747	0.739	0.765	3歳6か月児健診時むし歯のない子の人数÷3歳6か月児健診受診児総数×100
04	参加者一人当たりコスト	10.9千円	66.4千円	53.5千円	36.4千円	フルコスト÷参加者総数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

ぴかぴか教室に参加することで、保育者のむし歯予防への意識が高まっているためか、3歳6か月児のむし歯罹患者が減少してきている。

問題点・課題等

ぴかぴか教室に不参加者のむし歯予防への意識付けが課題。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明